

友よ、答えは映画の中にあつた。

世界はどこまでも広く、
思いはなかなか届かないけれど、
いくつもの映画が集まって
光る風の流れになれば、
何かが変わるかもしれない。
答えのかけらはここにある。



浦安・三番瀬にて

浦安から持続可能な社会を考える

第6回うらやすドキュメンタリー映画祭

2017年6月3日(土)4日(日) 浦安市民プラザWave101大ホール

息の跡 | 人生フルーツ | 0円キッチン | ゲイビー・ベイビー | 追憶 | シリア・モナムール | すべての政府は嘘をつく | 薬は誰のものか

主催：浦安ドキュメンタリーオフィス 後援：浦安市教育委員会

「浦安から持続可能な社会を考える」をコンセプトに開催している映画祭は今年で6回目。忘れてはいけない記録を刻んだ映画、社会の豊かな可能性を示す映画を集めました。土曜に観るか？ 日曜に観るか？ わが街・浦安で「いま」の風を感じてください。

6.3(土) 開場 10:30 実り多き土曜日

息の跡

★小森はるか監督 11:00



©2016 KASAMA FILM+KOMORI HARUKA

監督：小森はるか 2016年/日本/93分
岩手県陸前高田市。津波のあとの大地でタネ屋を営む、ちょっと風変わりなおじさんの話。彼が饒舌に語りかけるのは、新鋭・小森はるか監督のカメラ。この土地に腰を据えて撮ったからこそ出逢えた人の、土の匂いがする映画。

人生フルーツ

★伏原健之監督ビデオメッセージ(予定) 14:00



©東海テレビ放送

2016年 第12回日本放送文化大賞 テレビ・グランプリ(テレビ版)
2016年 第42回放送文化基金賞 テレビエンターテインメント番組最優秀賞(テレビ版)

監督：伏原健之 2016年/日本/91分
愛知県春日井市の雑木林に囲まれた一軒の平屋は、建築家の津端修一さんが建てた家。四季折々、キッチンガーデンに育つ70種の野菜と50種の果実は妻英子さんの手でおいしいごちそうにかわる。風と雑木林と建築家夫婦の物語。

0円キッチン

★ゲストトーク予定 16:00



© Mischief Films

2015 ドーヴィルグリーン国際映画祭 ドキュメンタリー部門銀賞
2015 カンヌコーポレートメディア&TV大賞 自然・環境・エコロジー部門シルバードフィン賞

監督：ダーヴィド・グロス、ゲオルグ・ミッシュ
2015年/オーストリア/81分
世界で生産される食料の3分の1は廃棄されていることを知っているだろうか？ この映画は廃棄される運命だった食料をおいしい料理によみがえらせ、食べた人を感嘆させる。さあ、この世界に参加しよう。

ゲイビー・ベイビー

★ゲストトーク予定 18:15



© Marla House

2015 オーストラリアアカデミー賞(AACTA) ドキュメンタリー部門/ミネート
2015 カナダ国際ドキュメンタリー映画祭(Hot Docs) 正式出品

監督：マヤ・ニューウェル
2015年/オーストラリア/85分
家族のつくりかたは、ひとつだけじゃない。「自分をありのままの自分にしてくれる存在が、家族なんだ」。同性カップルに育つ4人の子供たちが教えてくれる、家族の、人間の多様性の物語。

(20:10頃 終了予定)

★の回は上映後にトークイベントがあります。

- 入場後、入れ替えはありません。
 - 上映スケジュールは変更になる場合があります。
 - 映画祭の最新情報をホームページまたはフェイスブックで発信しています。
- 浦安ドキュメンタリーオフィスHP▶www.urayasu-doc.com
facebook▶www.facebook.com/urayasudoc 映画祭twitter▶@UDFF2011

1日何本観てもこの料金です！

料金

1 day パス(目付指定) 前売・事前予約 1,600円 当日 1,800円 高校生以下 1,000円
2 day パス(2日通し券) 前売・事前予約 2,999円 (当日の販売はありません)
アフター6パス(各日18時より入場可) 当日 999円 高校生以下 500円(前売・事前予約なし)

- うらやすドキュメンタリーテークのサポーターの方は当日料金から200円引き
- 事前予約は6/2(金)までにホームページから、もしくはお電話でお申し込みください

お問い合わせ先 浦安ドキュメンタリーオフィス TEL: 070-5459-9205 E-mail: info@urayasu-doc.com

6.4(日) 開場 10:00 願い深き日曜日

追憶

★小栗謙一監督 10:30



©2015「追憶」製作委員会

監督：小栗謙一 2015年/日本/76分
あなたは知っているだろうか、1944年、南太平洋の美しい小さな島の海岸線が血に染まったことを。私たちが今を生きるために決して忘れてはならないこと。それはペリリュー島の出来事。

2015 京都国際映画祭 オープニング上映作品

シリア・モナムール

★青山弘之さん(東京外国語大学大学院教授) 12:50



©2014 - LES FILMS D'ICI - PROACTION FILM

監督：オサーマ・モハンメド、ウィアム・シマヴ・ベデルカーン
2014年/シリア・フランス/96分

内戦7年目のシリア。今も続く破壊と殺戮。亡命先のバリーで祖国の現状を憂える監督と、現地の惨状を記録し続ける女性との詩の朗読のような対話。女が男に問いかける…「あなたが今ここにいたら何を撮る？」

2015 山形国際ドキュメンタリー映画祭 優秀賞
2014 ロンドン国際映画祭 ベスト・ドキュメンタリー賞

すべての政府は嘘をつく

15:20



©2016 All Governments Lie Documentary Productions INC.

監督：フレッド・ピーボディ
2016年/カナダ/92分

米国で1953年から独立系新聞を発刊し国際問題を鋭く調査・分析したジャーナリスト、I.F.ストーン足跡と、彼の姿勢を受け継いだジャーナリストたちの闘いを追った注目作。オリバー・ストーン製作総指揮。

2016 トロント国際映画祭 正式出品
2016 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭 正式出品

関連シンポジウム

ドキュメンタリーに答えはあるのか？ 17:00

東日本大震災後以降、日本でもスポンサーや政府を忖度した報道が顕在化する中、日本の独立系メディア・ドキュメンタリー映画の動向を探る。今やドキュメンタリー映画が真実を映す唯一の鏡なのか？



山田厚史 さん(デモクラシータイムズ代表)
白石 草 さん(OurPlanetTV代表) ほか

薬は誰のものか

★内田聖子さん(PARC 事務局長) 18:30



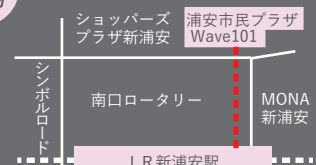
(20:25頃 終了予定)

監督：ディラン・モハン・グレイ
2013年/インド/84分

アフリカをはじめ途上国でエイズに苦しむ人々に欠かせない薬と、大企業の特許権の対立を描く。貧富の差が治療の格差につながることを見過ごしてよいのか？ この映画は多くのことを私たちに問いかける。

2013 DOXAドキュメンタリー映画祭 大賞
2013 ワシントン国際映画祭 社会正義賞

会場



- ・JR京葉線 新浦安駅下車 南口徒歩2分
- ・千葉県浦安市入船1-4-1
- ・イオンショッピングプラザ新浦安4F